

職員による自己評価

**A. 環境面**

環境適切である。昨年はバリアフリーの配慮は足りない部分があるとの評価だったが、出来る範囲で配慮した結果、適切と評価。

**B. 児童への支援内容**

支援後の打ち合わせは退社時間が異なる職員もいる為、情報や活動プログラムの共有が出来ていないと感じる。

**C. 関係機関との連携**

保育所・各支援センター等との連携が不透明と感じる。

地域自立支援協議会等への参加が、管理者の体調不良により後半減ってしまった。

日頃から子供の状況を伝え、共有理解を行っている。

障がいのない子供と活動する機会は少ない。

**D. 保護者への説明責任・信頼関係**

アンケートにて保護者会の是非をとの案があり前に向きに検討する。

**E. 非常対応**

虐待防止研修・避難訓練等適切に対応している。

ヒヤリハットの共有が出来ている。

保護者による評価

**A. 環境面**

活動スペースは子供の年齢や、活動内容によっては狭いと感じ時もあると意見と工夫しているとの意見もいただいた

スタッフの人数も多く安心である。

パーテーションや鍵など工夫している。

物が少なく刺激が少ない。

**B. 児童への支援内容**

子供にあった支援を実施していると感じた。

長期休みでのお出かけや、季節感のある活動（工作やイベント）を実施している。

**C. 事業所からの情報発信**

毎月のニュースレターを楽しく拝見している。

その日の様子を連絡帳だけではなく、メールやHPで知らせてくれる。

学校や地域と連携されている。

**D. 非常対応**

子供から訓練をしていると聞いている

スタッフが多く安心している

事業所内での分析

**【共通点】**

- ・限られた活動ペースを工夫して使っている。
- ・プログラムが固定化されないように工夫され、子供たちは楽しみにしている。
- ・放課後デイサービス計画作成に複数のスタッフが参加している。
- ・保護者会等が実施されていない
- ・連絡帳でのやりとりや面談、送迎時やメールを活用して情報を共有している。
- ・ブログやニュースレター等で情報発信をしている。
- ・障がいのない児童との交流は持っていない。
- ・避難訓練が行われている。

**【相違点】**

- ・大きい相違点はない

分析・検討してみて…

### 事業所の強み

- 常勤・非常勤スタッフの勤続年数が長く、児童の特性を共有理解し長期にわたる継続支援が出来ている。
- 卒業後の居場所をフォローできている。
- 地域資源の利用（きくなみんなのひろば・スペース弥平等の利用）
- 長期利用の児童に対して関係機関との連携を図っている。
- 保護者の方を招いてのクリスマス会の開催。
- 第三者のダンスの先生を招聘。
- お出かけ練習をしてガイヘルへ繋げる活動。

### 事業所の改善点

- 活動ペースの有効活用
- 非常勤スタッフの研修や勉強会の実施。
- 支援後の振り返り・気付いた点の共有。
- 父母の会の設立。
- 保護者会の実施。
- 卒業後の支援の充実。

### 事業所の改善への取り組み

- 活動プログラムの立案を非常勤スタッフも含めて取り組む
- 支援後の打ち合わせに参加出来なかった職員には、連絡ノートを活用して情報共有する
- 関係機関との連携を強化
- 保護者会・きょうだい会を保護者様側が必要としているか是非をアンケートにて確認する
- 事業所の行事に地域の方などを招聘
- ガイヘルへ繋げる活動の継続

### ～自己評価を行っての事業所としての感想など～

- 事業所への満足度が利用者様（児童・保護者様）に満票の評価が得られず、説明不足または魅力が伝えられていないと感じた
- 貴重なご意見を参考にして改善を進め、安心・安全・安楽で過ごせるように努めてまいります。
- これからもものヒヤリハットやインシデント報告を活用してさらなる安全向上に繋げて行きたいと思っております。
- 利用者様（児童・保護者様）や職員・地域の皆様のお力添えがあり 11 周年を迎える事ができこれからも皆様と共に成長して行きたいと思っております。

2026年3月22日

事業所名: 児童デイサービス・アニマート菊名

担当者: 管理者 野澤 明